

水稲用初・中期一発処理除草剤

ブルゼータ[®]

シヤンボ

向かう所、敵無し。

◆ 直播水稲にも使用可能

プロピリスルフロン
ベンゾピシクロン
2成分

◆ 2成分の一発剤 ◆ 難防除雑草に優れた効果 ◆ 3剤型勢揃い



ノビエ



ホタルイ



クログワイ



オモダカ



コウキヤガラ



シズイ

ブルゼータ[®] ジャンボ



- ◆ 2成分の一発剤 プロピリスルフロン+ベンゾピシクロンにより優れた除草効果
- ◆ 難防除雑草に優れた効果 多年生雑草・SU抵抗性雑草に有効
- ◆ 3剤型勢揃い 使用者のニーズに合わせてご使用いただけます

適用と使用方法

2020年4月現在の登録内容

主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで	小包装(パック) 10個(200g) /10a	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる

ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	3葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
エゾノサヤカグサ	2葉期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

■プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内

上手な使い方

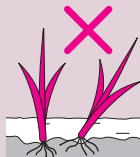
均平化作業・植付けはていねいに!

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。



移植深度は適正に!

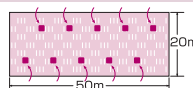
極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



散布時の注意!

- 水深5～6cmで散布。
- 藻類、浮草が発生する前に散布。
- 「濡れた手」で扱わない。
- パックを破らずに投げ入れる。

10アール(1反)では
10個を投げ込む
(6～10m間隔で)。



散布後の注意!

散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはいねいに行い、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にいねいに行ってください。
- 処理に当っては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。特に、

処理時または処理後数日以内に異常高温が重なる場合は、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。

- 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
 - 極端な浅植の水田。
- 梅雨期等、処理後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
 - 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
 - オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
 - その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は十分注意してください。
 - いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
 - 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
 - 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

02R4D20B107:ZS

2020年4月作成(全企企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP



住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

